

令和6年能登半島地震被災地へ義援金

「自分の精一杯を能登に送ろう」

たつの市・西福寺がチャリティーイベント

兵庫県たつの市の西福寺で行った。福寺は10月19日、能登半島地震の復興支援チャリティーイベント「Free Free Festival」を実施。また本堂広縁や



境内ではマーケット（写真）のほか、趣旨に賛同した店舗による、整体、ヨガ、ラーメン、カレー、たい焼きの販売を行った。

特徴は、すべてに値段が設定されていない「フリー」であること。来場者は0円から自分で値段を決め、募金箱に代金を入れていく。会場の各所に「大人の精一杯も 子どもの精一杯も 大谷翔平さんの精一杯も みんな同じ精一杯 自分の精一杯を能登に送ろう」と書いた紙を貼って協力を呼びかけた。55万6761円が寄せられ、全額、本山の「たすけあい運動募金 令和6年能登半島地震災害義援金」に送った。

◇ このイベントは「被災地のために、一緒に今ここでできることを

考えよう」という尾野 けやチラシの配布、当智行住職(40)と愛似里 日の運営スタッフを協賛した門徒たちが力で行った。

門徒総代の中嶋悟さ(88)は「私たちはつ

ケットで販売する、衣い金額や労力の大小に

類、日用品、おもちゃ、とらわれてしまいがち

品などの提供の呼びかけとは、一人一人がそれ

慶讃法要行事入場料を義援金に

新潟・長岡組 能登被災地のために

能登半島地震で被災 潟教区長岡組(春日一

した人々のためにと新 浄組長)は11月2日、

同組の親鸞聖人

御誕生850年

・立教開宗80

0年慶讃法要記

念講演会をチャ

リティーイベン

トとして長岡市

内のホテルで開

いた。

同組門徒総代

会との共催。落

語家で天台宗僧

侶の露の団姫さ

んが講演を行

それぞれの精一杯を尽くす 笑顔でご協力くださることなのだと感じ、それぞれの精一杯が今ここに集まっていた。今、『お寺離れ』が深刻な問題だが、今思うと胸が熱い。お寺がお念回のように広く、『一くくなった。お寺がお念に考えませんか』と仏に出遇う場所であり、誰一人排除することのない阿弥陀さまのお慈悲の上で、世の中のさまざまな問題について考え、向き合える場となるよう、努めていきたい』と思いを語った。

い運動募金「令和6年能登半島地震災害義援金」として40万円を手渡した(写真)。

春日組長は「20年前の新潟県中越地震では私たちが、たすけあい運動募金をはじめ全国から多くのご支援をいただきました。今後とも組や各寺院で法要や行事に取り組む中で、被災地のことを忘れず、できることをさせていただけたら」と語った。



た。同組門徒総代

会との共催。落

語家で天台宗僧

侶の露の団姫さ

んが講演を行

い、楽しいひと

ときを過ごした。